



10月の園だより

令和7年 10月1日

目黒区立八雲保育園 園長

～自分の好きを表現する秋～

澄み渡る青空は高く、吹く風も心地よく感じられる日が増えました。

先日、5歳児クラスは春から育てた米の稲刈りを行いました。用務職員に「ここをしっかりと握って、この位置から(稲を刈る)気を付けてやろうね」と教えてもらいながら順番に畑へ入って行きます。八雲保育園の米は屋上で育てているのですが今年も子どもたちの背丈程に見事な生長をしました。途中、ホール遊びをしていた4歳児が来て「触っていい?」「お米が入っているんでしょ、匂いがする」と興味津々、次は自分たちが育てるという思いが膨らんだ表情に見えました。その横を見ると、稲殻を拾い集めている子がいました。担任に「ありがとう、助かるよ」と声をかけられると「んっ?何で」と不思議そうに言葉を返します。その子は興味を持った稲殻をただ拾い集めていたのですが、気づかないうちに周りをきれいにしてくれました。自分の好きなことが人の役に立ったことに「うん、きれいになってるね」と気づいた瞬間の笑顔は何とも言えず嬉しそうでした。他にも「こっちに持って来て、こうやって(稲)掛けてね」と稲を干す整理をしている子がいたり、職員の姿を真似て「(稲を縛って束ねる)貸してやってみたい」と束ねたり、自分の好きなことを見つけて積極的に動く姿がたくさん見られました。

今月は運動会を予定しています。各クラスの子どもたちは春からの活動や遊びの中で思い思いの「自分の好き」を見つけてきました。当日は保護者の皆様や地域の皆様に一人ひとりがその「好き」を自分の形で表現します。ぜひご来場いただきその瞬間を感じていただけたらと職員一同お待ちしております。

10月の行事予定

運動会(2～5歳児 *0・1歳児自由参加)
幼児お楽しみ会(3・4・5歳児)
芋掘り遠足(4・5歳児)
内科検診(全園児)
焼き芋(3・4・5歳児)
身体計測 避難訓練

11月の行事予定

いも汁(3・4・5歳児)
歯科検診(全園児)
身体計測 避難訓練

～5歳児クラスと用務職員の交流から～



夏野菜(ナス)の収穫も終わり、畑で片づけ作業をしていると、一人の子どもが名残り惜しそうにこちらを見つめています。しばらくすると近づいて来て「ナスさんありがとう」と声をかけています。すると周りにいた子どもたちからも「ありがとう」の声があがりました。

子どもたちの素直な気持ちが感謝の言葉となり表れた瞬間でした。栽培活動を通して心の成長を感じた夏の終わりの出来事でした。9月中旬、稲刈りも無事に終わり5歳しろくま組では稲穂が日に照らされキラキラ光っています!



クラスで流行っている遊び！！

めだか組（0歳児クラス）

「思わず体がゆれちゃうね♪」

歌が大好きめだかぐみ

歌が大好きな子どもたち。保育士が歌いはじめるとすぐに体が左右に揺れ始め、歌っている保育士の顔をわくわくしているような表情で見つめています。体を揺らしてリズムをとっているのが歌い終わりに「じょうずだね」と拍手をすると、一緒に拍手をするようになりました。夏頃から運動会の歌や、園歌、パイナポー体操とレパートリーも増えました。歌い終わると急に切ない顔になって“え、おわり？もっとうたってよ”といわんばかりの表情をしたり、“もう一回”と指を1本出してリクエストしたりととても可愛いです。

最近は大好きなパイナポー体操と一緒に踊ろう！と1歳児クラスと玄関ホールに集合！少し大きい子の姿をじーっと見つめたり真似して腕を振ったりしながら参加しみんなで音楽を楽しんでいます。



あひる組（1歳児クラス）

「あひる組★パーティー」

お手玉のおにぎり、かまぼこ板のパン、布をくるくる巻いたものにビーズ棒を差してケーキ（ろうそく付き）が出来上がるとパーティーのはじまりです。ハッピーバースデーの歌に合わせて拍手をして「〇〇ちゃんおめでとう」と言うと「〇〇ちゃんおめでとー」と声をかけたり、「〇〇ちゃんも」と次々に誕生日の子が増えていき、何度も“おめでとう”が繰り返されます。「かんぱーい」とコップを合わせると、その様子に気づいた友達が近くにあったペットボトルを持参して隣で一緒に飲み始めました。「せんせーどうじょー」と保育士にもごちそうしてくれます。遠くにいた友達も拍手してくれたり、ペットボトル持参でパーティーに遅れて参加したりと、“あひるぐみ★パーティー”は連日、みんなが主役の楽しい誕生日会です。



らっこ組（2歳児クラス）

「+いたいところありますか？」

遊びの中で言葉のやりとりが増え、お医者さんごっこを楽しんでいます。「いてててて」とお腹を痛そうにおさえる友達や怪我をした友達がいると、すぐにお医者さんが登場しなりきって「痛いところはどこですか？」と尋ねています。患者さん役も「ここが痛いんですー」と足を指差し、「熱があるんです」と表情や仕草でなりきっています。痛いところは聴診器に見立てたブロックでお腹の音を聞いてみたり、布玩具の絆創膏を貼ったりして「ちょっと冷やしますね〜」と治療してくれます。また、薬も手作りで作って塗ったり飲ませたりしています。その様子を見ていつの間にか患者さんが増えていき、ウレタン積み木で待合室を作り順番に並んで待っている姿もかわいいです。やりとりを楽しむ中でイメージがどんどん膨らんでいき、友達と一緒に遊ぶことが楽しい子どもたちです。

